

政策シート 政策名 03 生涯学習を享受できる機会の充実
予算費目名 01 生涯学習費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

- 市民がいつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくりのため、生涯学習機会の提供を行います。
- 各地域で、市民の学習成果を発揮する機会を提供します。
- 生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行います。

(3) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	2,269,851	1,071,258	869,048	1,248,889	867,209	3,776,828
決算	2,233,244	1,004,187	772,208	1,214,089	794,790	3,741,684
人件費(報酬等)(A)	154	164	164	174	174	159
人件費(人工分)(B)	30,660	30,520	44,800	44,800	48,400	48,400
年間経費(決算+A+B)	2,264,058	1,034,871	817,172	1,259,063	843,364	3,790,243

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
学習成果活用事業における講座数(講座)	講座	目標	100	100	100	100	80	80
		実績	81	80	100	90	80	83
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

- 市民がいつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくりのため、生涯学習機会の提供を行いました。
- 各地域で、市民の学習成果を発揮する機会を提供しました。
- 生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行いました。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
『楽しみ』や『生きがい』が見つかるまち・浜松」を目指して、いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくりや学習成果を適切に生かすことのできる機会の提供、生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行いました。特に、学習成果活用事業では、市民が主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活や社会生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を創出することができました。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	生涯学習機会提供事業	○	○		84,373	68,926	2.5	0.8		0.4	
2	生涯学習施設運営事業	○	○		3,670,572	3,682,928	2.1			0.1	
3	生涯学習運営事業	-	-		1,158	472	0.1				
4	学習等供用施設整備事業	-	-		20,060	19,591	0.1				
5	生涯学習デジタル運営経費	-	-		1,395	463	0.1			0.1	
6	生涯学習運営経費(一般諸経費のみ)	-	-		12,685	4,448	1.1	0.2		0.4	159
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					3,790,243	3,776,828	6.0	1.0		1.0	159

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 生涯学習機会提供事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民がいつでも自由に学び、地域社会への参画や地域の人々と交流ができる機会を提供することにより、豊かな人間性を育みます。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1991	—	一般会計	自治事務	教育基本法、生涯学習振興法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	II-2(1)ア					

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育							
事業とゴールの 関連性	市民がいつでも自由に学び、地域社会への参画や地域の人々と交流ができる機会を提供することを目的としているため、ゴール④と関連がある。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	66,409	64,296	65,193	68,449	67,563	68,926
	決算	60,651	40,539	51,420	63,265	62,504	62,873
	国・県支出	6,675	6,675	6,675			
	市債						
	その他	3,289	21,219	381	458	1,053	510
	一般財源	50,687	12,645	44,364	62,807	61,451	62,363
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,180	7,840	18,620	18,620	21,500	21,500
人工	正規	0.7	1.0	2.5	2.5	2.5	2.5
	再任用(31h)					0.8	0.8
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
年間経費(決算+A+B)		65,831	48,379	70,040	81,885	84,004	84,373

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
学習成果活用事業における講座数(講座)		目標	100	100	100	100	80	80
		実績	81	80	100	90	80	83
ITキッズプロジェクトの対象拡充(対象)		目標	小3~中3	小3~中3	小3~中3	小3~中3	小3~中3	小3~中3
		実績	小3~中3	小3~中3	小3~中3	小3~中3	小3~中3	小3~中3
全国レベルのコンテスト入賞者数(累計)	II-2(1) ア	目標	15	16	20	24	33	34
		実績	15	19	23	32	41	50
アクティブ・シニア講座受講者数(人)		目標	12,000	12,200	12,400	12,600	12,800	13,000
		実績	10,584	4,922	6,399	6,954	7642	7280
大学との連携事業による講座数(講座)		目標	50	50	50	50	50	50
		実績	62	38	51	60	47	47

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○学習成果活用事業
・生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活や社会生活の中で培ってきた知識、経験等の学びを、社会に還元する機会を提供しました。
○子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業(負担金)
・「浜松ITキッズプロジェクト」等、将来の地域産業を担う人材を育成するため、産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座を実施しました。
○アクティブ・シニア講座開催事業
・「70歳現役都市・浜松」の実現に向け、高齢者を地域社会を支える人材と捉え、地域社会への参画と学びの循環の構築を図ることを目的とした講座を実施しました。
○浜松市と大学との連携事業
・市内全6大学による 23講座を38施設において、延べ47回開催することができました。各講座で活躍してくれた大学生講師は318名、講座に参加した受講者は延べ1,034人でした。
○生涯学習人財育成事業
・生涯学習登録講師及び登録希望者に対し、講師としてのスキルアップを図ることを目的とし、生涯学習講師養成講座を実施しました。また、学校支援活動をサポートするため学校支援活動を行っているボランティアの方のスキルアップや新たな人材を発掘することを目的に「地域学校協働活動ボランティア講座」を実施しました。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・学習成果活用事業では、市民が主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活や社会生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を創出することができました。
・「浜松ITキッズプロジェクト」では、小学校3年生から中学校3年生までを対象とし、講座を実施しました。
・「アクティブ・シニア講座」では、趣味・教養といった自己完結的な学習にとどまらず、健康寿命の延伸など現代的課題の解決や職業生活で得た知識・経験の活用等、地域社会への参画と学びの循環の構築を図ることを目的とした講座を実施しました。
・「浜松市と大学との連携事業」では、各大学と講座内容を工夫することで、目標とする講座数がほぼ達成できました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・学習成果活用事業では、市民が主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活や社会生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を創出しました。また、より多くの方々へ経験を積んでいただくため、事業を通じて講座を開講できる個人及び団体は2回(2年)までとしています。
・アクティブ・シニア講座では、受講者の学びの充実、社会への還元のために、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底し、開催内容を工夫して講座を実施しました。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・学習成果活用事業では、2025年度も事業への参加を希望したできるだけ多くの方に経験をさせていただけるように、各区で希望者の情報を共有し、講座開催が可能な施設への案内をします。
・ITキッズプロジェクトでは、2025年度も小学3年生から中学3年生までを対象に講座を実施します。ITキッズ卒業生の進路等について調査するアンケートについての議論を進めます。
・アクティブ・シニア講座では、受講者の学びの充実、社会への還元のために講座内容を工夫します。

事業シート (事業名) 02 生涯学習施設運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行います。また、浜松科学館について、展示と講座で、科学の原理や技術に関心を持たせ、観察や実験を通して科学的な考え方を養う「科学する心」を育成します。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1981	—	一般会計	自治事務	浜松科学館条例他

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅱ-2(1)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育						
事業とゴールの関連性	生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行うとともに、浜松科学館について、展示と講座で、科学の原理や技術に関心を持たせ、観察や実験を通して科学的な考え方を養う「科学する心」を育成することを目的とするため、ゴール④教育と関連がある。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,180,604	991,825	747,537	1,152,212	784,760	3,682,928
	決算	2,154,162	954,659	706,127	1,098,801	720,007	3,655,592
	国・県支出		41,192				
	市債						73,500
	その他	20,343	252,672	20,476	21,723	22,723	846,361
	一般財源	2,133,819	660,795	685,651	1,077,078	697,284	2,735,731
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		17,080	14,280	14,980	14,980	14,980	14,980
人工	正規	2.4	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
年間経費(決算+A+B)		2,171,242	968,939	721,107	1,113,781	734,987	3,670,572

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松科学館来館者アンケートによる満足度の維持(%)		目標	70	70	90	90	90	90
		実績	91	95	95	96	94	96
浜松科学館の来館者数(人)		目標	187,500	255,000	260,000	225,000	225,000	225,000
		実績	248,155	97,730	128,183	186,949	174,215	172,722
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合(%)	Ⅱ-2(1)イ	目標	33	33	33	34	34	35
		実績	33.1	30.5	32.7	29.2	29.5	33.1
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○科学館運営事業
・常設展、企画展及び特別展(春、夏、秋、冬)、プラネタリウム(2022年3月リニューアルオープン)等の管理運営を行いました。
・子ども事業、企業・大学等との共催事業、学校地域連携事業、相談事業等を開催しました。
・ホール、セミナールームの貸館業務、科学館学習情報システムの運用を行いました。
○クリエート浜松運営事業、浜北文化センター運営事業、なゆた・浜北運営事業、万葉の森公園運営事業、天竜壬生ホール運営事業、雄踏文化センター運営事業、みをつくし文化センター運営事業、引佐多目的研修センター運営事業、三ヶ日文化ホール運営事業、春野文化センター運営事業、佐久間歴史と民話の郷会館運営事業、水窪文化会館運営事業、龍山森林文化会館運営事業、生涯学習施設整備事業
・各施設の設置目的を達成するために、管理運営及び施設整備を行いました。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を徹底し、サイエンスショーや科学実験等を開催しました。

2024年度に展示更新を実施し、2025年3月20日にリニューアルオープンをしました、

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サイエンスショーやミニワークショップ等の開催内容を見直し、事業を行いました。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

春の特別展「浜松ミクロ散歩」は、2024年4月1日から5月6日まで開催しました(入場者数692人)。夏の特別展「しかけ絵本でサイエンス」は、7月20日から9月1日まで開催しました(入場者数5,350人)。秋の企画展「科学の学園祭」は、10月5日から10月27日まで開催しました(入場者数2,612人)。冬の企画展「みんなで熱中!ものづくり」は、12月21日から2025年1月13日まで開催しました(入場者数685人)。また、2025年の春の特別展「東海道新幹線ずかん」は、2025年3月1日~4月6日まで開催しました(3月入場者数10,514人)。各展ともに、科学館スタッフ手作りの展示や解説パネル等、内容を工夫して開催しました。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

科学教育の拠点施設として、より魅力的な施設となるよう、事業(講座、イベント等)の充実や関係機関のネットワーク強化を図ります。また、2026年度の第二期展示更新業務に向け、2025年度は、展示更新内容の検討を進めます。

事業シート (事業名) 03 生涯学習運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

閉館した旧教育文化会館について、適正な維持管理を行います。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1954	—	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育					
事業とゴールの 関連性	生涯学習施設の管理を行うとともに、生涯学習機会の確保を目的としており、ゴール④教育と関連がある。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,706	9,251	5,997	833	842	472
	決算	5,516	4,696	4,617	807	811	458
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	5,516	4,696	4,617	807	811	458
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		6,216	5,396	5,317	1,507	1,511	1,158

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
旧教育文化会館の適正な管理(周辺清掃等)		目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○旧教育文化会館事業

・旧教育文化会館の管理を行いました。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・旧教育文化会館の維持管理(周辺の清掃、樹木整備)を行い、施設を適正に管理しました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・年間を通じて、旧教育文化会館の適正な維持管理を行いました。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・旧教育文化会館の解体工事を実施しているため、周辺の清掃、樹木整備は、実施しない予定です。

事業シート (事業名) 04 学習等供用施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

航空自衛隊浜松基地飛行場周辺で、飛行訓練の騒音により生活環境に著しい障害を受けている地域において、学習等供用施設を整備し、地域の人々の学習・コミュニティ活動に貢献します。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1966	—	一般会計	自治事務	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育							
事業とゴールの関連性	航空自衛隊浜松基地飛行場周辺で、飛行訓練の騒音により生活環境に著しい障害を受けている地域において、学習等供用施設を整備し、地域の人々の学習・コミュニティ活動に貢献することを目指しているため、ゴール④「教育」と関連がある。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	13,332	2,195	45,506	24,144	10,354	19,591
	決算	10,282	2,090	6,831	48,980	9,186	19,360
	国・県支出						
	市債						700
	その他	5,140	1,045	3,415	24,129	4,411	9,680
	一般財源	5,142	1,045	3,416	24,851	4,775	8,980
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		10,982	2,790	7,531	49,680	9,886	20,060

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
利用者数(人)		目標	274,000	275,000	276,000	277,000	278,000	280,000
		実績	252,193	129,054	146,459	179,503	199,614	207,890
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

和泉会館の施設劣化度調査、葵西会館の照明改修工事及び大久保会館の照明器具修繕工事を実施しました。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

地域の人々の学習・コミュニティ活動の場として、地元自治会をはじめとした地域の市民による学習等の活動に利用されました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
和泉会館の施設劣化度調査、葵西会館の照明改修工事及び大久保会館の照明器具修繕工事を実施しました。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
今後も地元自治会からの要望に応じて、学習等供用施設の改修を進めていきます。
また、国の一般助成制度を活用して施設改修が進められるよう準備を行っていきます。

事業シート (事業名) 05 生涯学習デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

創造都市・文化振興課(生涯学習費)のデジタル関連事業に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			1,463	253	283	463
	決算			1,282	247	255	415
	国・県支出			932	186		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			350	61	255	415
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				980	980	980	980
人工	正規			0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1	0.1	0.1	0.1
年間経費(決算+A+B)				2,262	1,227	1,235	1,395

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜北文化センター インターネット回線整備・運用		目標			整備・運用	運用	運用	運用
		実績			整備・運用	運用	運用	整備
天竜区5施設 インターネット回線運用		目標						運用
		実績						運用
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・天竜区区役所費から予算組替を行い、天竜区内5施設(天竜壬生ホール、春野文化センター、佐久間歴史と民話の郷会館、水窪文化会館、龍山森林文化会館)のインターネット回線使用料を支払いました。
- ・浜北文化センターの大規模改修に伴い休止しているインターネット回線について、手数料を支払いました。
- ・創造都市・文化振興課内に設置されている学校管理運営システム用パソコンの回線使用料を支払いました。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・天竜区区役所費から予算組替を行い、天竜区内5施設(天竜壬生ホール、春野文化センター、佐久間歴史と民話の郷会館、水窪文化会館、龍山森林文化会館)のインターネット回線使用料を支払いました。
- ・浜北文化センターの大規模改修に伴い休止しているインターネット回線について、手数料を支払いました。
- ・創造都市・文化振興課内に設置されている学校管理運営システム用パソコンの回線使用料を支払いました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・天竜区内5施設(天竜壬生ホール、春野文化センター、佐久間歴史と民話の郷会館、水窪文化会館、龍山森林文化会館)のインターネット回線使用料を支払いました。
- ・浜北文化センターの大規模改修に伴い休止しているインターネット回線について、手数料を支払いました。
- ・創造都市・文化振興課内に設置されている学校管理運営システム用パソコンの回線使用料を支払いました。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・天竜区内5施設(天竜壬生ホール、春野文化センター、佐久間歴史と民話の郷会館、水窪文化会館、龍山森林文化会館)のインターネット回線使用料を支払います。
- ・浜北文化センターの大規模改修工事の完了に伴い、2025年度からインターネット回線使用料の支払いをします。

事業シート (事業名) 06 生涯学習運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

創造都市・文化振興課(生涯学習費)の一般事務に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,800	3,691	3,352	2,998	3,407	4,448
	決算	2,633	2,203	1,931	1,989	2,027	2,986
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	2,633	2,203	1,931	1,989	2,027	2,986
人件費(報酬等)(A)		154	164	164	174	174	159
人件費(人工分)(B)		7,000	7,000	8,820	8,820	9,540	9,540
人工	正規	0.8	0.8	1.1	1.1	1.1	1.1
	再任用(31h)					0.2	0.2
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4
年間経費(決算+A+B)		9,787	9,367	10,915	10,983	11,741	12,685

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工